

ビワ生育情報

千葉県
平成23年6月号

平成23年5月の気象

平成23年5月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第1、第2及び第4半旬を除く3半旬で平年を0.1～1.2℃下回った。月平均気温は18.0℃で、平年より0.1℃、低温だった前年より0.9℃高かった。

降水量は第1、第2及び第5半旬を除く3半旬で平年を上回った。月合計は228mmで、平年より79mm(53%)、前年より109mm(92%)多かった。

日照時間は第1及び第6半旬を除く4半旬で平年と同じか上回った。月合計は166時間で、平年より11時間(6%)、前年より35時間(17%)少なかった。

表1 平成23年5月の気象(館山測候所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	17.1	16.9	17.2	3	20	0	23	30	47
2	18.3	17.5	18.2	8	24	5	29	28	40
3	17.7	17.8	14.2	76	26	33	27	27	20
4	18.8	18.2	18.0	23	22	27	42	28	34
5	17.5	18.7	19.6	22	25	38	30	29	30
6	18.4	19.4	15.8	108	29	17	15	35	31
平均/計	18.0	18.1	17.1	228	149	119	166	177	201

7月の作業(果実の発育は次ページ)

7月に入ると梅雨も明け、本格的な夏を迎える。収穫後の弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておくこと、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので注意を要する。成虫は産卵のために、7～8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。幼虫は食入穴から虫糞を出しているため簡単に見つけることができるため、穴から針金などを入れてつき殺す。また卵は見つけしだいつぶす。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は「楠」が4.33cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ5.09cm、4.22cmであった。本年の横径は「楠」及び「田中」は平年より1～5%小さく、「大房」は平年より2%大きかった。

縦径は「楠」が4.58cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ5.29cm、4.81cmであった。本年の縦径は「楠」及び「田中」は平年より2%小さく、「大房」は平年より4%大きかった。

果形指数は「楠」が0.95、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ0.96、0.88であった。果形は楠は平年よりやや横長、「大房」及び「田中」は平年よりやや縦長傾向であった。

着色程度は「楠」が2.4、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ2.6、1.1で、「楠」及び「大房」は平年よりやや遅れているが、南無谷の「大房」は平年と同程度の着色であるため、収穫期に注意する。「田中」の着色は前年ほどではないが、著しく遅れている

暖地園芸研究所では早生品種の収穫は5月下旬から始まり、「楠」の収穫は5月31日に始まったが、「大房」及び「田中」は収穫には至っていない。本年は気温差が激しい日が多く、特に「楠」及び「大房」は圃場あるいは樹体内で着色程度に差が大きいため、適期収穫に注意する。

本年は平年に比べ、着花房率が著しく高かったが、寒害の被害は多く、着果量は平年並みかやや多い。「楠」及び「田中」は小果傾向であるため、減収が予想される。「大房」は寒害の被害も少なく、大果傾向であるため、増収が予想される。

本年の果樹カメムシ類の発生は、南房総市ほか県南地域で平年より少なく、今後の発生も少ないことが予想されている。しかし、カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育（6月1日の果径）

品 種	調 査 地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数			着色程度		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	4.33	4.39	4.31	4.58	4.69	4.44	0.95	0.94	0.97	2.4	3.0	2.1
大 房	青 木	4.79	5.00	4.72	5.03	5.12	5.01	0.95	0.98	0.94	2.5	2.9	2.2
	南 無 谷	5.14	4.96	4.67	5.42	5.11	4.90	0.95	0.97	0.95	3.0	3.0	2.1
	暖地園研	5.34	4.92	4.95	5.41	5.00	5.24	0.99	0.97	0.94	2.5	2.8	2.2
	平 均	5.09	4.97	4.78	5.29	5.10	5.05	0.96	0.98	0.95	2.6	2.9	2.2
田 中	青 木	4.29	4.46	4.15	4.70	4.95	4.73	0.91	0.90	0.88	1.0	1.7	1.0
	南 無 谷	4.13	4.39	4.09	4.84	4.84	4.66	0.85	0.91	0.88	1.2	1.7	1.0
	暖地園研	4.25	4.46	4.11	4.89	4.89	4.48	0.87	0.91	0.92	1.2	1.6	1.0
	平 均	4.22	4.46	4.12	4.81	4.91	4.62	0.88	0.91	0.89	1.1	1.7	1.0

果形指数：横径／縦径

着色程度：1(未着色)、2(黄白)、3(淡橙黄)、4(橙黄)、5(濃橙黄)

平年：1986年～2010年の25年間の平均、ただし着色程度は1999年～2010年の12年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】
※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>